

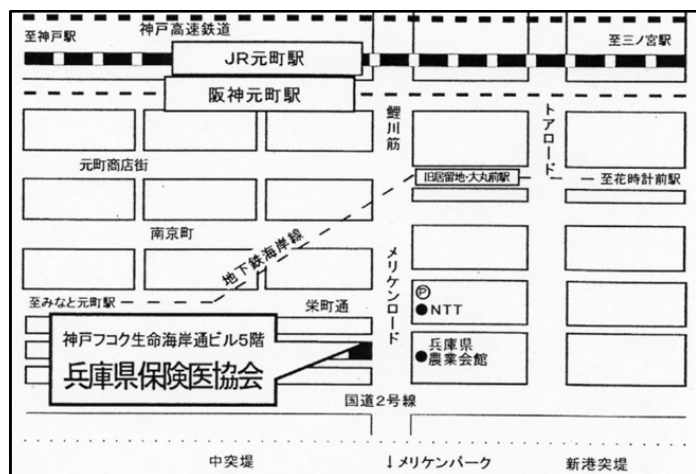
世界最先端の歯髄保存

日 時 **11月9日（日） 14:00～17:00**

講 師 **東京都・岡口歯科クリニック 岡口 守雄 先生**

会 場 **兵庫県保険医協会会議室**

- ・神戸フコク生命海岸通ビル5階
- ・JR・阪神「元町」駅東口から南へ徒歩7分



⇒協会未入会の先生はこの機会にご入会の上ご参加ください（入会金なし:月会費：歯科開業医5,000円、同勤務医3,000円）

【Zoom視聴の申し込み】

下記のURLまたは二次元コードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://x.gd/3H9QH>



現在、我が国やAAEの歯髄保存の診断基準は臨床症状の強さを基準に可逆性・不可逆性歯髄炎と分類し、ヨーロッパではその強さで4つに分類している。

リクッチ先生の病理切片より臨床症状が強く不可逆性歯髄炎と診断された歯髄においても歯髄の一部に細菌を認めるも歯髄の大半が正常であることが分かってきた。つまり歯髄を保存する最良の方法は歯髄壊死がどこまで進行してどこからが正常であるかを見極め、診断することである。

そこで歯髄疾患の進行度を新たに5つのステージに分類し、そのステージに応じた治療方法を提唱している。

今回、さまざまな歯髄疾患のステージに応じた治療方法の中で、多くの冷水痛や自発痛そして打診痛などの症状が改善すること、従来保存不可能とされていた歯髄であっても保存可能であることを皆様に紹介し、明日からの臨床に役立てていただきたいと思います。（岡口 記）

*お問い合わせは

TEL：078-393-1809

E-MAIL：ysng@doc-net.or.jp

11月9日歯科定例研究会 参加申込書（返信FAX：078-393-1802）

地区〔 市区町 〕 医院名〔 〕

TEL〔 〕 FAX〔 〕

氏名〔 〕 職種〔 〕